

野外サークル 5月度「飛鳥の集落をめぐる」①

2025年5月9日(金)

【コース】飛鳥駅(9:55 発)～越～真弓(マルコ山古墳)～佐田(東明神古墳)

～森(岡宮天皇陵)～高取町役場(昼食)～鳥ヶ峰古戦場跡～壺阪山駅～観覚寺

～阿部山(キトラ古墳)～檜前(檜隈寺跡)～御園～飛鳥駅(14時45分散)



飛鳥駅前集合、コース説明



スタート前の準備体操



飛鳥駅前をスタート



岩屋山古墳方面への踏切



ツバメの御見送り

野外サークル 5月度「飛鳥の集落をめぐる」②



岩屋山古墳近くの住宅地を進みます



許世都比古命神社(こせつひこのみことじんじゃ)



道沿いのアヤメに癒されます



マルコ山古墳方面へ



マルコ山古墳へ



野外サークル 5月度「飛鳥の集落をめぐる」③

● マルコ山古墳 (国指定史跡)

- ・真弓丘と称される丘陵に築造された 7 世紀末後半～末の終末期古墳。
- ・墳丘の対角長 24m、高さ 4.5m ほどの多角形墳であり、その周囲に外周(直径 24m)となる外部施設に排水施設。
- ・石槨は凝灰岩の切石を組合せた横口式で、内部は全面に漆喰が塗られている。規模、構造が高松塚古墳と似ている。
- ・被葬者は天武天皇の皇子説などがある。
- ・出土品は、乾漆棺の破片、棺を飾る金銅製の六花形文様の金具などが検出。(奈良県 明日香村ホームページ参考)



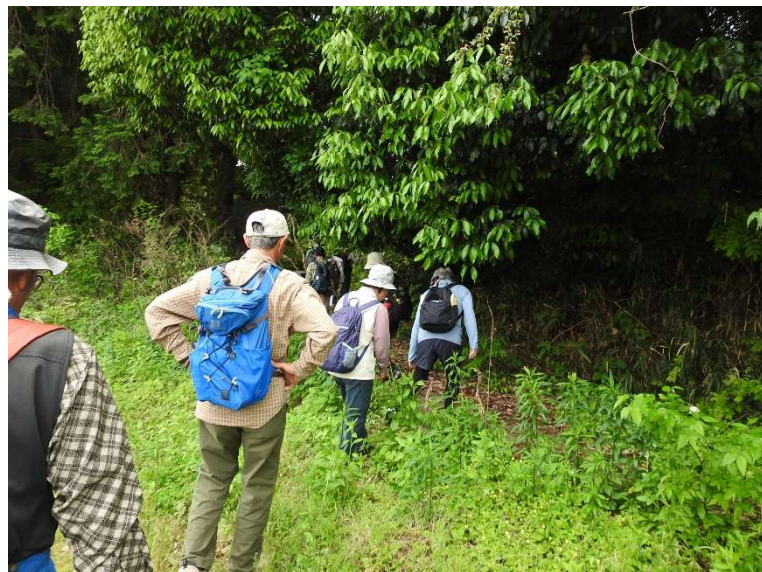
マルコ山古墳の説明



古墳上から壺阪寺天竺渡来大観音石像



道中で出会ったクサフジ



何処へ向かうのかな？

野外サークル 5月度「飛鳥の集落をめぐる」④



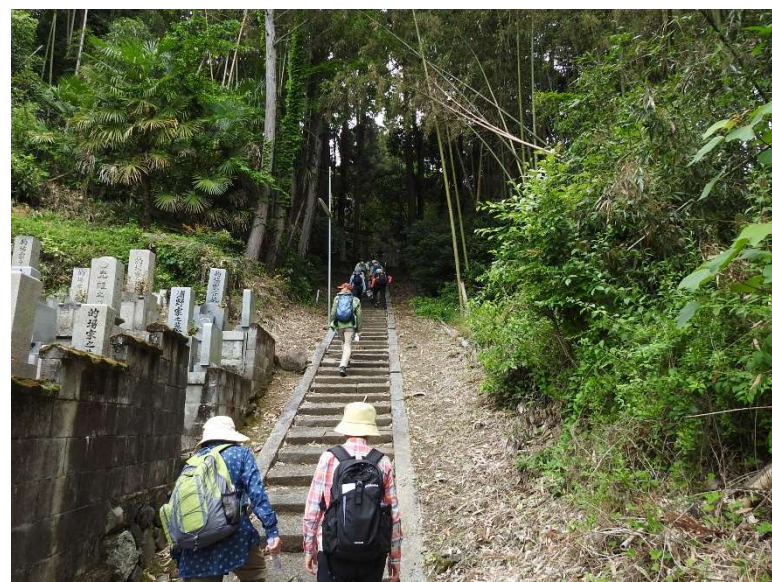
束明神古墳（つかみょうじんこふん）方面へ



佐田の庚申



束明神古墳（つかみょうじんこふん）方面へ



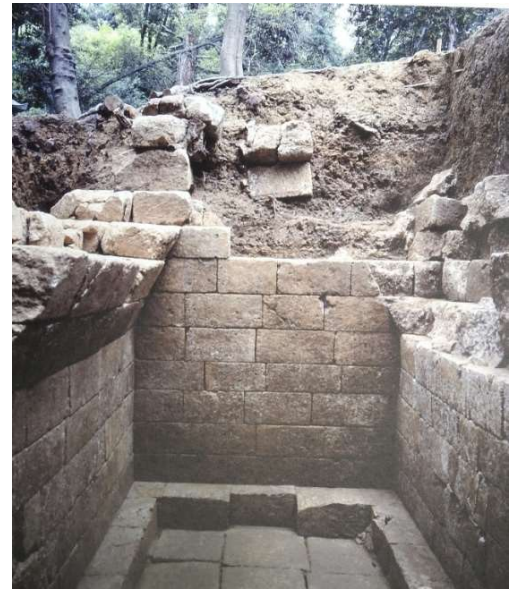
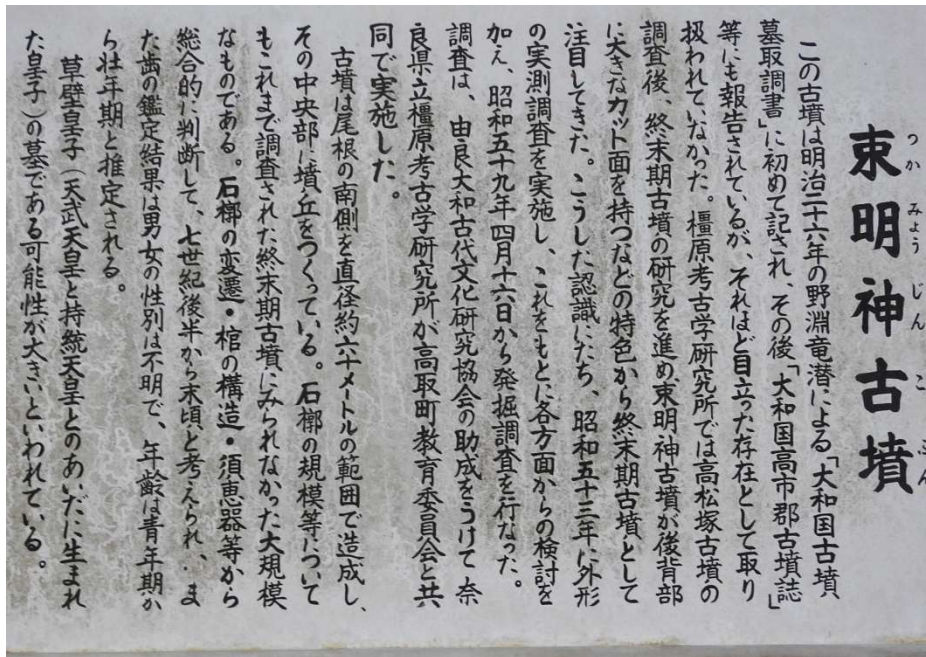
急な階段(100段)を上がります



春日神社境内



束明神古墳（つかみょうじんこふん）



パンフレット写真より



春日神社の「義経と天狗」の絵馬



神社境内で見つけたシロカエル



岡宮天皇陵方面へ



岡宮天皇陵の傍にある八坂神社

● 岡宮天皇陵

- 天武天皇の若き皇子として
将来を嘱望されながら 28 歳という
若さで亡くなった草壁皇子(くさかべのみこ)
の墓とされている。
 - 皇子の死後に詠まれた柿本人麻呂の
挽歌は万葉集に収められており、
母である持統天皇の息子への情愛を
うかがえるものとなっている。
- (奈良県観光局ならの観光力向上課
ホームページ参考)



古道紀路(高野街道)を進みます



● 鳥ヶ峰古戦場跡 (天誅組を攻撃した大砲が据えられたのは、現在の町役場の敷地内)

- 幕末、奈良で挙兵した志士たち「天誅組」がいた。
天誅組を敗走させた大砲が据えられた地時は幕末。
孝明天皇の大和行幸を控えた 1863 年 8 月 17 日、
尊王攘夷派の志士たちが幕府直轄の五条代官所を
襲撃し、武装蜂起した。
 - その後政変が起き、天誅組と称していた志士たちは
大義名分を失い幕府から追討される身となった
天誅組は、自分たちに「服する」としていた高取藩が
翻意したのに対抗して、高取城攻撃のために進撃も
高取藩は大砲を用いるなどして、天誅組を敗走させた。
- (奈良県 高取町観光ガイドホームページ参考)



野外サークル 5月度「飛鳥の集落をめぐる」⑦



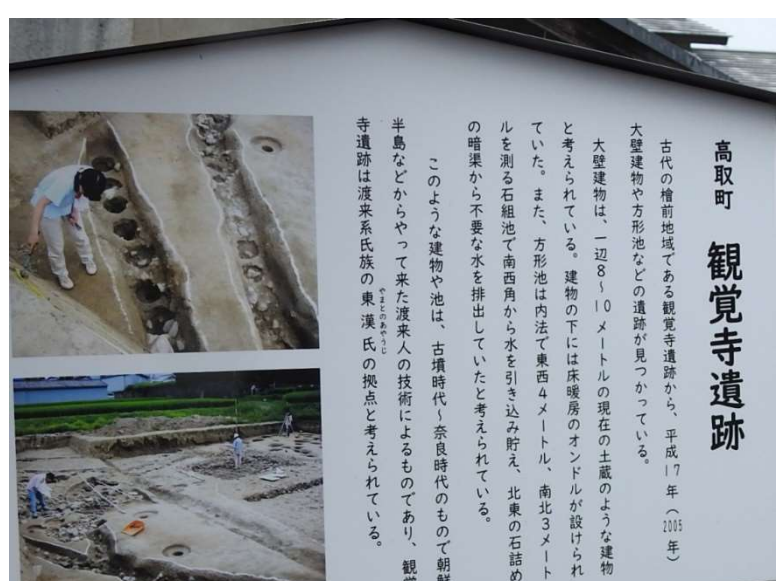
昼食タイム：雨が降り出し、高取町役場の好意により会議室借用「昼食・休憩」



近鉄吉野線：壺阪山駅横を通過



傘が必要となる雨が降ってきました！



観覧寺遺跡



大和平野幹線水路（御所市～高取町～明日香村～桜井市～天理市～奈良市～大和郡山市）



キトラ古墳全景

キトラ古墳の説明

● 特別史跡 キトラ古墳

- キトラ古墳は、7世紀末から8世紀初め頃に造られた古墳で、丘陵の南側斜面に位置している。墳丘は二段築成の円墳で、発掘調査の成果などから、下段の直径が13.8m、上段の直径が9.4mと推定されている。
- 内部には二上山産凝灰岩の切石を18枚組み合わせて作られた石室がある。石室内部は奥行2.40m、幅1.04m、高さ1.24mの大きさと、鎌倉時代に盗掘を受けているが、刀装身具、琥珀玉などの副葬品の一部と、木棺片や棺の飾金具、人骨などが出土している。
- 石室内には、四神、十二支、天文図、日月の壁画がある。四神(青龍、朱雀、白虎、玄武)は天の四方を司る神獣で、四周の壁面に対応する方位に合わせて描かれている。日本で四神の図像全てが揃う古墳壁画は、キトラ古墳壁画のみである。
- 四神の下には、獣頭人身の十二支が描かれており、現在、子、丑、寅、午、戌、亥の6体が確認。屋根形の削り込みのある天井には、東の斜面に金箔で太陽が、西の斜面に銀箔で月が表されている。天井の平坦面の部分には円形の中国式の天文図が描かれている。

(国営飛鳥歴史公園ホームページより)



【四神の館】へ向かいます



【四神の館内】



檜隈寺跡方面へ



於美阿志神社



於美阿志神社境内



石塔姿(平安時代)



檜隈寺跡礎石

*近鉄 飛鳥寺駅にゴール、解散